



北朝鮮軍事力の脅威

—通常兵器、特殊部隊とテロ—

2017年8月

軍事戦略評論家（軍事・情報戦略研究所長） 西村金一

説明は、全てパワーポイントで行います。

緊迫する朝鮮半島情勢、韓国派遣者の対処態勢の講演の際に、「北朝鮮が、南侵した場合、南北軍事境界線からソウルの間にある自社施設は、①破壊される、②占拠（関係者は保護される）される、③素通りされる、のうちどれになるのか」といった質問を受けた。私の答えは、「施設は占拠されるという認識は同じ。だが、社員は、保護されることはなく、収容所（北朝鮮）に連行され、食事も与えられず、寒さで凍え、死ぬまで北朝鮮に捕えられ、日本に帰ることができないだろう」である。社員の生死にかかわることについての認識が、私と企業の方とは、大きく異なると感じたものである。おそらく北朝鮮の本質や戦いの様相の認識の違いから来ているのではないだろうか。

金正恩委員長の高笑いの裏には、危険過ぎる顔がある。その危険性は高まっていくばかりである。金正恩の異母兄の金正男氏が2月13日、マレーシアで、神経剤VXガスにより殺害された。金正恩体制にとって不都合な人間は、次から次へと殺害・処刑する。それも国内だけでなく、国外滞在していた者も殺害した。1983年ビルマのラングーンで韓国大統領爆殺未遂事件と同様に、北朝鮮という国家が異様で不気味な国家であることを、改めて強く感じさせられた。

北朝鮮は、2011年12月「敵があえて仕掛けるなら青瓦台と侵略の根拠地を火の海にする」、'13年3月「休戦協定を白紙化する」、'15年3月「進軍してソウルを破壊する」と言及し、青瓦台（大統領府）にロケットを打ち込む創作映像までも放映した。南北の「休戦状態」から「朝鮮戦争の状態」に戻して、「いつでもソウルに進撃するぞ」と想像させる恫喝を行った。昨年、核兵器や弾道ミサイルの実験を頻繁に実施した。これに連動して、米国へのミサイル攻撃や韓国へのロケット攻撃の映像を流した。今年に入ると、金正恩委員長は、新年の辞で、「大陸間弾道ミサイルの発射実験の準備が最終段階に入った」と述べた。

金正恩政権になって、頻繁な核実験やミサイル実験に加え、委員長の発言やマスメディアが見せつける映像の過激さは増すばかりだ。その過激さは、脅しのラインを超えてしまっている。北朝鮮の軍事挑発は、今年になって、益々現実味を帯びてきた。

米国国防長官が最初に訪問するのは、通常、欧州なのだが、米国マティス国防長官は、今年の2月に韓国と日本を最初に訪問した。北朝鮮や中国の軍事的脅威の現実的な高まりがそうさせたのだろう。

南北の軍事関係を客観的に分析すると、直ちに核戦争が発生することはないだろう。まず、

小さな軍事挑発や軍事衝突が発生し、それらから南侵に拡大する。その進展が思惑通りに進まないことや、平壤が爆撃で破壊されるなど、不利な状況に陥ることから、金正恩が自国の体制崩壊の危機を察知した時に、核兵器を使用することになるのではなかろうか。従って、核戦争に拡大する以前に起こり得る可能性が高い通常兵器による軍事挑発・軍事衝突の危機について、考察することが重要である。

最も注目すべきこと、3つ、それは？

- ① 北朝鮮はまともな国か？話し合える国なのか？
 - ・暴力国家（テロ国家）、油断できない、ずるがしい
- ② どのように軍事力を整備しているか？
 - ・重点を絞って軍事力を増強
 - ・特殊部隊に勝ち目を見出す
- ③ 核兵器・弾道ミサイルはすごいのか？
 - ・実力とブラフ？

1. 北朝鮮はまともな国か？ 話し合える国なのか？

過去の事例から見ると、どうなのか？ もう一度おさらい

- ・北朝鮮軍等による軍事行動・軍事挑発の連続
- ・03年、米国情報偵察機への接近
- ・欺騙（騙し討ち）がうまい

国家としては、

- ・暴力国家（テロ国家）
- ・油断できない、ずるがしい国家

2. 北朝鮮軍は「強い」のか、南侵できるのか？

軍事力のイメージは？（戦いの勝敗は、どうして決まるのか）

- ・兵器の数量で比較してみると
- ・旧式兵器と近代的兵器で戦うと、どうなるか？

(1) 兵器の数量比較

- ・南北軍兵力を数量で単純比較すると
- ・近代兵器の量だけを比較すると
- ・米軍の2個空母機動打撃群を入れると
- ・数量で見ると、北朝鮮が韓国軍の2倍であるが、韓国軍に勝てる戦力ではない。また、北朝鮮軍は旧式兵器であるために、正攻法では勝てないために、主に欺騙・陽動作戦で攻撃を仕掛けて来るであろう。

- ・北朝鮮海空軍は、米韓軍に数日で、破壊されてしまう

(2) もし、北朝鮮が南侵（挑発）すると、どのような様相になるのか

- ・空軍が戦うとどうなるか？
 - 空対空ミサイルを使用したドッグファイト
- ・海軍が戦うとどうなるか
 - 北朝鮮の軍艦がどれほど古いのか？
 - 北朝鮮の軍艦が戦うとどうなるのか？
 - 北朝鮮海軍は、どんな作戦で戦うのか？

パワーポイント例



- ・地上軍の攻撃能力は
- ・化学兵器で攻撃すると
 - 使用される可能性があるマスタードとは、どのようなものか
 - 金正男殺害事件
- ・特殊部隊が攻撃すると
 - 特殊部隊とは
 - どうやって来るのか

(3) 地上侵攻作戦は、どうなるのか

- ・まず、特殊部隊の潜入（韓国、そして日本にも）
- ・主にソウルを目指して侵攻する
- ・北朝鮮軍の現在の能力では、作戦が上手くいったとしても、漢江を超えることは不可能に近い

- ・この時、日本人の救出は、ほぼ不可能でしょう。

パワーポイント例

北朝鮮軍によるソウル侵攻イメージ



まとめ

参照文献：詳解 北朝鮮の実態（原書房）